

古民家「青戸家(福市屋)」のパンフレットが完成

古民家である「青戸家(福市屋)【当主：青戸元也氏】」住宅の建築年代が大筋分かりました。青戸家は現当主の青戸元也氏で25代続く旧家です。先日、米子工業高等専門学校の建築科の教授によって解き明かされました。

現在の建物は、江戸時代中・後期に築造されたものであろうと言われています。門長屋や式台門を備えていることから庄屋を務めていた17代幸右衛門が建てたのではないかと推測されます。

以前から、建築年代を探るために、「棟札」探しを行ってきました。天井裏の大黒柱等にあるのではないかと探索しましたが発見されませんでした。



建築年代が大筋分かったことから、井上輝之さん(宝谷)にお願いしてパンフレットを作成し、まち協が発行することにしました。

また、このたびの、おおみや里山まつりの際に、見学会を行うこととしました。是非、訪ねてみてはどうでしょうか。当日は、パンフレット作成者の井上輝之さんにガイドしていただくことにしています。

「おおみや15夜」の開催について(お願い)

今年も「おおみや15夜」が近づいてきました。実行委員会が立ち上がり準備中です。約70万円の予算で実施の予定です。住民の寄付と篤志寄付(町内外の会社、個人)で賄ってきました。特に、花火が「おおみや15夜」の最大の見せ場となっています。大阪から帰省された方々から「こんな近くで見る花火は、見たことがない。淀川の花火や富田林の花火は有名だが、そんな花火より迫力や見応えは一級品だ。」と口々に話されます。

近年世帯数も減り、資金難です。見応えのある花火を1発でも多くあげたいので、大宮出身のみなさん方から少しでもかまいませんので、ご寄付を賜ればと存じます。次の口座番号に振り込みいただければ幸いです。よろしくお祈りします。

※口座番号 ゆうちょ銀行 「01320-0-88293」大宮まちづくり協議会総務部

《お問合せ》

大宮地域振興センター



〒689-5531
鳥取県日野郡日南町印賀 1516
TEL・FAX (0859)87-0911

Mail: skn0400@town.nichinan.tottori.jp
satoyamaomiya@sea.chukai.ne.jp
blog: <http://blog.zige.jp/satoyamaomiya/>
“じげプロ”よりお入りください

編集・発行: 大宮まちづくり協議会 総務部

【編集デスク】

◆今年の夏は、「冷夏」である。田畑の状況が心配である。昨年のように「猛暑」でも困るが、太陽が恋しい今日この頃である。草だけは、よく伸びる……。◆盆の行事「おおみや15夜」が近づいてきた。高齢者世帯、特に独居・二人世帯が多いのだが、帰省して下さるみなさんにも喜んでもらおうと、実行委員会も立ち上がり、準備中である。
◆「ハシバミの郷づくり」に興味関心を持っている一人であるが……。(青)



これは、「ハシバミ」という植物である。ブナ目カバノキ科ハシバミ属に分類される被子植物で、落葉低木である。ハシバミの実は、「和製ヘーゼルナッツ」と呼ばれ、食せる。農林課吉田主事の話によると、現在、鳥取県内では、米子市淀江町と日南町でしか発見されておらず、日南町では、大宮しか植生していないそうである。(関連記事あり)

環境整備作業が相次ぎ開催

大宮まちづくり協議会・環境福祉部（上田稔部長）主催の恒例行事である環境整備作業が6月30日に実施されました。約70名の参加者が、まち協の資金源でもある「印賀川土手」の草刈り作業を中心にして、「秋原峠のあじさい周辺」、「秋原の聖滝」、「印賀宝篋印塔（八幡山）」、「地域振興センター運動場」等の草刈り作業を行いました。



また、この日を前後して、各自治会でも、自治会の拠点である集会所施設を中心にして町道わきの草刈り作業や集会所施設の環境整備に汗を流しました。

年々困難になりつつある環境整備作業ではありますが、資金源でもあり、やれる範囲で継続していくことや若者の参加も考えたいところです。

若者といえば、ありがたいことに（株）ファームイングの若者たちの参加には感謝しています。いつもありがとうございます。

けがなく無事終了したことに、担当の上田部長も感謝の言葉で締めくくられました。



もう一点あげたいのが、昨年度の豪雨時には、宝谷川が増水し、危険な状況となりました。また、印賀川の吉鉦附近も増水し、危険な状況でした。河川の土砂が堆積し、河床が上がっているのが原因の一つです。各自治会とまち協が町当局に撤去工事のお願いをし実現しました。現在、宝谷川で工事が進行中です。

大宮地域には、まだまだ、河床堆積土砂撤去作業をしなければならないところがたくさんあります。粘り強く、お願いをしていきたいものです。祖先がカナナ流しをしてきた私たちの地域です。大雨となると、一挙に土砂が崩れ、河川に土砂が流れ込み、堆積してしまうのです。大宮ダムも今では、土砂堆積が進み、水深1mくらいです。近年の豪雨は、いつどこであるのかわかりません。そして、大規模です。

まち協でも、それに備える体制を整備してきていますが、各家庭でも、「自分の命は、自分で守る」という気持ちでいてほしいものです。今年も、災害時の助け合いにと「支え愛アンケート」を実施します。各家庭で帰省中のご家族とも相談されて、アンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

『ハシバミの植栽』

6月22日（木）、農林課の依頼により、「ハシバミ」の植栽を南集落で実施しました。まち協産業振興部が主体となり、約30cmの苗木4本を植えました。この日は、日野高校の生徒さんが役場で職場体験中であり、農林課の仕事体験で大宮を訪れ、「ハシバミ」の苗木を植えてくれました。管理は、産業振興部で行うこととし、今後はもっと植えていきたいと計画しています。

農林課吉田主事の話によると、「ハシバミ」は、今のところ町内では大宮地域しか植生していないというとても貴重な植物です。ハシバミの種子は、「和製ヘーゼルナッツ」と呼ばれています。西洋ハシバミの種子が「ヘーゼルナッツ」で、チョコレートに入れられていたり、ナッツ類の一つとして食されたりしています。

長野県のある町では、ハシバミ栽培を行い、ハシバミの種子である「和製ヘーゼルナッツ」を製品として売り出し、まちおこしをしています。

大宮しか植生していない、ハシバミです。大宮の気候に合っているのでしょうか。耕作放棄地等で栽培してはどうでしょうか。土壌よりは、太陽がたくさん当たる土地が好みようです。来年度はもっと植えたいと考えており、ハシバミの郷をめざしたいものです。

興味のある方々のご協力をいただければありがたいです。日当たりのよい、耕作放棄地を貸していただける方は、地域振興センターに連絡いただくと助かります。



スマート農業 大宮で実証開始！（その2）

スマート農業の実証開始を5月号のふるさとだよりに掲載しましたが、その後の様子をお知らせし、興味を持っていただければと思い、第2報をお届けします。

写真のように芽を出し、大きく稲が育っています。確かに、田植えをした田圃の稲とは違い、まだ小さいですが、ドローンで播いた種もみが、ここまで育っています。（種まきは、5月15日でした。）

7月16日（火）、スマート農業第2弾、ドローンを使った追肥の散布が行われました。また、リモコン式の草刈り機による作業も行われました。

この田圃を管理しているのが、（株）ファームイングの若者たちです。毎日の管理は、大変だろうと思いますが、実証に期待しています。実りの秋が楽しみです。次回の9月号にも掲載する予定です。

